

科目名 Course Name	ソーシャルワーク演習(専門) I Seminar of Social Work (Expert) I			ナンバリング No.	I2-008		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>ソーシャルワークの知識と技術について、実践的に習得するとともに専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>①ソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養うことができるようにする。</p> <p>②分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に述べるができるようにする。</p> <p>③ 地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に例証できるようにする。</p> <p>④ ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に利用できるようにする。</p> <p>⑤ 事例検討や事例研究を行い、その意義、方法を具体的に説明・記述できるようにする。</p>						
授業の方法	テーマに応じた小講義後、個人ワーク、グループワーク(ロールプレイング等)等により授業を展開する。演習後には小レポートやディスカッションで振り返りを行う。						
学習成果	L01	専門職としての基礎的な知識・態度を身につけることができる。					
	L02	自分や社会への理解を深め、実践に応用するスキルを身につけることができる。					
	L03	事例検討・事例研究において、総合的・包括的に捉えることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後の振り返りシートにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:①「学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習」ソーシャルワーク演習研究会/ミネルヴァ書房 ②「イラストでわかる 対人援助職のためのコミュニケーションと面接技術」須藤昌寛/中央法規						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	1回3点とし、毎回評価する。授業の準備を整え、遅刻せずに出席していること。演習への積極的な参加。演習の目的を理解できていること。以上が達成されない場合には減点対象とする。	45					
レポート/作品	ワークシート、振り返りで評価する。		40				
発表							
小テスト	知識・技術確認のための小テストを行う。			15			
試験							
その他							
合計		45	40	15			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価について、諸注意等) ひきこもり 記録技法① 記録の意味「逐語録」と観察
	事前・事後学習	シラバスを読んでおく
2	授業内容	ひきこもり 記録技法②「叙述体、要約」
	事前・事後学習	事前: 前回実施した逐語録を完成させておく 事後: 叙述体、要約体での記録を完成させる
3	授業内容	ひきこもり 記録③「考察」
	事前・事後学習	事前: 事例を読み直し、自分なりの支援のポイントをあげておく 事後: 振り返りシートを記入する
4	授業内容	児童(いじめ) 記録④ フェイスシート
	事前・事後学習	事前: 事前配布資料を読み、フェイスシートを埋めておく 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
5	授業内容	障害者・引きこもり 面接技法① ケースの発見(面接ってなんだろう?)
	事前・事後学習	事前: テキスト P68 学習のねらいとキーワードを確認しておく 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
6	授業内容	障害者・ひきこもり面接技法② インテーク(逐語録を使ったロールプレイ)
	事前・事後学習	事前: テキスト P68～69 導入ワークを実施しておく 事後: 小テストの事前学習
7	授業内容	障害者・ひきこもり 面接技法③ 傾聴の技術(アセスメント)、小テスト
	事前・事後学習	事前: 日頃のコミュニケーション場面を想定し、実施している技術を挙げる 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
8	授業内容	障害者・ひきこもり プランニング
	事前・事後学習	事前: プランニングシートを記入する 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
9	授業内容	貧困 (インテーク・アセスメント・プランニング)
	事前・事後学習	事前: インテークについて調べておく 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
10	授業内容	貧困 (ネゴシエーション、支援実施・モニタリング)
	事前・事後学習	事前: テキスト P78 学習のねらいとキーワードを確認しておく 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
11	授業内容	貧困 (支援の終結と事後評価、アフターケア)
	事前・事後学習	事前: 事前配布事例を読んでおく 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
12	授業内容	終末期(チームアプローチ)
	事前・事後学習	事前: 終末期にかかわる専門職を調べておく 事後: 小テストの事前学習
13	授業内容	終末期(チームアプローチ)、小テスト
	事前・事後学習	事前: 事前配布事例を読んでおく 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
14	授業内容	虐待(ネットワーキング)
	事前・事後学習	事前: 児童、高齢者、障害者虐待防止法の形態、虐待者について確認しておく 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく
15	授業内容	虐待(コーディネート)
	事前・事後学習	事前: 事前配布事例を読んでおく 事後: 資料を見直し、わからないところはテキストを読み、埋めておく